

# ことばの不思議 レビュー課題

2015 年度後期 水曜 3 限 (13:00-14:30)

担当：浅尾 (asao@lit.nagoya-u.ac.jp)

## 課題内容

言葉に関する本を読み、レビューを書いて下さい。

対象となるのは、研究者が書いた研究書、入門書、もしくは（研究に基づいた）一般向け読み物、エッセイの類です。言語学と関係していれば、言語学者に限らず、文学研究者、心理学者、社会学者、哲学者、工学者などによる書物であってもかまいません。原則として 1 冊だけ選んでください（上下巻に分かれている場合や、極めて連続性が高いシリーズなどの場合は、その限りではありません）。

参考としてブックリストを配布します。また、ウェブサイト上でもリストを公開し、随時更新します。ブックリストから選んでも OK ですが、掲載されていない本を読むのも歓迎です。日本語の本でなくてもかまいません（レビューは日本語で書いて下さい）。

[http://asaokitan.net/courses/fushigi2015/?page\\_id=33](http://asaokitan.net/courses/fushigi2015/?page_id=33)

言葉に関係があるものでも、以下のようなものは原則として対象から除外します。

- 非研究者 (例えば小説家、翻訳家、コピーライターなど) が書いたエッセイなど
- 語学テキスト、辞書、言葉遣い・漢字・ことわざ・語源などの雑学書、試験対策本、文章技法やスピーチ技術などについての実用書など

選んだ本が課題にふさわしいかどうか判断できない場合は相談して下さい。

## 分量・〆切

分量は A4 で 2 ページ程度です。1 月 13 日の授業に印刷したものを持参して下さい。

## 書き方の注意

レビューを書くうえで、含めると良い情報は以下のようなものです。

- 全体の趣旨や構成、想定されている (であろう) 読者層など。
- 各章の内容の要約。各章ごとに内容を 1 段落程度にまとめると良いと思います。
- 評価。論旨の明快さ、例示の適切さ、文章の読みやすさ、専門用語を分かりやすく導入できているか (あるいは専門用語を使わずにうまく書けているか)、本全体としての完成度やトピックの一貫性、流れのわかりやすさ、同じような主張が繰り返されていたり、言及すべきトピックが抜けていたりなどの問題がないかなど、具体例を挙げつつ自由にコメントして下さい。
- 本書をどのような読者に薦める (または薦めない) か。

求めているのはレビューであり、読書感想文ではありません。その本の内容を知りたがっている / 読む価値があるかどうか迷っている不特定多数の人にとって役立つ内容を書いてください。以下は**よくない例**です：

- 個人的に面白かったか、難しかったかなどを書く (評者のバックグラウンドや関心についての情報を共有していないと、書評の読者には役に立ちません。「～について勉強したことがない人には難しいだろう」など、一般化すれば有意義な情報になり得ます)
- 本書に関連して個人的に思い出したことなどを書く (書評の役割ではありません)
- 「著者の理論は間違っている」などの持論を展開する (書評の役割ではありません。自分で論文を書いて下さい)